

# のびのび



2019年度校長室だより 第11号 令和2年3月26日

湯田小学校のキャッチフレーズ： あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

2019年度チャレンジ目標：湯田小ABC

合い言葉：やさしい言葉

みんなよくがんばりました

校長 伊藤 豊

3月2日。新型コロナウイルス感染拡大を食い止めるための全国一斉臨時休業に伴い、臨時登校日を行いました。子供たちも、私たち教職員も大きな戸惑いの中にいました。全てが中途半端、あと少しなのにと口惜しさ、卒業式はどうなるのだろうという不安がみんなの中にありました。その日の限られた持ち時間の中で、子供たちの気持ちに一つの区切りをつけさせ、学校再開の日まで一人一人が頑張れる力を蓄えさせたいと考えました。人数の多い学校ですから、子供たちが集まる場所、換気状態も工夫しました。伝える内容も精選しました。こうして3月2日の臨時登校日は始まりました。各教室では、担任から大切な話を伝えました。私からも全校放送で「日本中のほとんどの人が経験したことがないことを、明日からみなさんは経験していきます。自分の力が試される時です。毎日をしっかりとすごしてください。」と伝えました。下校時には、6年生と全校児童のお別れのミニ集会を屋外で行いました。臨時休業中に卒業してしまう6年生の顔を見てお別れする時間でした。6年生からは、下級生に熱いメッセージと歌が届けられました。臨時休業前に、みんなの心が一つになりました。

その後、長い臨時休業が始まりました。各ご家庭で、保護者の皆様をはじめとして多くの方々のお力添えがあり、子供たちは毎日無事に過ごすことができていたようでした。臨時休業2週目に入り、ご家庭に電話をかけさせていただきました。それぞれご多用中にもかかわらず、ご対応いただきありがとうございました。一日をリズムよく生活するのはなかなか大変なことがわかりました。また、外出も制限があり、身体を動かしたい子供たちの様子もよくわかりました。

3月17日から、午後の一定時間に学校の運動場を開放できることになりました。初日は、親子連れを含め、多くの利用者があり、久しぶりに子供たちの声が響きました。

3月19日、令和元年度卒業式を挙行了しました。6年生とその保護者、教職員だけの参加となりましたが、小学校で6年間学んできた卒業生の姿は立派で、みんなキラキラしていました。多くの保護者の方の目にも、喜びと感動の涙がありました。在校生の思いは、教職員から届けました。

3月23、24日。保護者のみなさんに通知表を受け取りに来ていただきました。ご協力のおかげで、運動場や会場が混み合うこともありませんでした。

そして今日、3月26日。本当なら体育館で令和元年度の修了式を行う予定でしたが、今回は各教室で放送を聞く形で実施しました。久しぶりの学校、自分の教室。そして懐かしい顔に出会え、どの子供も笑顔でした。「日本中のほとんどの人が経験したことがないこと」を、一人一人の子供たちはどのように感じたのでしょうか。何に気付いたのでしょうか。



4月から令和2年度が始まります。一学年ずつ進級するための最後の準備を、この春休みに時間をかけて行ってほしいと思います。振り返れば本年度も色々なことがありました。そのたびごとに、保護者や地域のみなさんに助け、支えていただきました。きっと、がんばっている子供たちが目の前にいるから大人も力が湧くのだと思います。われわれ教職員も同じ思いです。

この1年間、本当にありがとうございました。来る令和2年度も、引き続きどうぞよろしくお願ひします。